



Ichiyoukai

一葉会会報

復刊第39号

発行所

一葉会

(桜宮高校同窓会)

大阪市中央区日本橋2-10-17

サウス17日本橋302

TEL・FAX 06-6631-2131

※お問い合わせは、留守番電話、もしくはFAXでの対応となります。ご了承下さい。

発行責任者 泉 浩平

一葉会会長ご挨拶

一葉会会長 泉 浩平



やわらかな春風に心華や季節になりました。会員の皆様におかれましては益々の健勝の事とお慶び申し上げます。平素より桜宮高等学校同窓会「一葉会」の活動にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

創立一〇〇周年から今年二〇二六年十一月十日で創立二〇周年を迎えることになりました。あらためて歴史のある母校だと思ひます。特に一葉会の定例行事となりましたサクラフェスは

昨年十一月十五日PTA様と会議室内での縁日祭りも、お土産の駄菓子が無くなるぐらい盛況でした。またPRの為に一葉会法被を作成致しました。サクラフェスはもちろん、総会にも着用して盛上げたいと思っています。

以前からの会報で卒業証書ホルダーと卒業生コサージュのお話はしたかと思ひますが、今期よりクラブ活動補助金を予算化することに致しました。過去インターハイ出場クラブ等激励金とし

た予算がありました。インターハイ出場のハードルも高くなり、また物価高騰もある為見直ししました。学校活動補助金(継続)卒業生記念品費(継続)クラブ活動補助金(新規)少額ではありますが、現役の生徒の皆様が一葉会として少しでもお役にたてればと思っております。

またコロナ禍後三年前より卒業式にも一葉会として参列させて頂くようになりました。講堂での厳粛ななか、卒業式も滞りなく進み、最後は在校生保護者の皆さんと校舎から堤防へと人道をつくりその中を卒業生が行進していきます。それはそれは華やかでした。堤防ではそれぞれ

れ記念写真など非常に心温まる門出になるだろうなと思ひます。またご報告としまして今年の総会ですが、大阪島島のイタリアンレストランに場所を変えました。場所も広く令和卒業生ダンス部OB・OGの方々によるパフォーマンスを予定しておりますのでご期待ください。詳細は案内をご覧ください。

最後になりますが今年の志願者数は普通科、人間スポーツ科学科とも募集数を上回っている記事で読みました。私立無償化や少子化のなかご努力された結果かと思ひます。一葉会としても微力ながら協力していきたい所存です。

ご挨拶

校長 藪中 俊彦



一葉会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

桜宮高等学校の校長として三年目の春を迎え、改めて歴史と伝統のある本校での勤務に對しまして、身を引き締まる思いです。新年度をスタートしております。

本年二月二十七日の卒業式におきましては、公私何かとご多用の中、一葉会会長の泉浩平様、副会長の塚田智恵様、幹事の村井景子様にご臨席を賜るとともに、前日の卒業式予行におきましても、泉会長様から卒業生に

向けてご祝辞を賜り、誠にありがとうございました。普通科一五〇七名、計二五八名の卒業生を送り出し、同窓会会員として加えていただきました。本校を巣立ちました卒業生たちは、それぞれの進路先において本校での三年間の学びの成果を発揮してくるものと期待しております。そして皆様とともに末永く後輩たちの活躍を見守っていただくよう願っております。

四月七日の入学式では、新たに普通科一三三〇名、人間スポーツ科一三〇名、計二六三〇名の新生を迎え入れました。本校の校訓「知性・敬愛・活力」

のもと、授業や学校行事、部活動を通して互いに切磋琢磨し、先輩たちとともに大きく成長してくるよう願っております。

本校の現在の状況ですが、昨今の少子化・私学無償化等の影響を受け、令和七年度入学生から普通科が六クラス減となり、一・二年生が六クラス、三年が七クラス、計一九クラスの体制となり、生徒数は減少しましたが、学校行事や部活動に元気に取り組む桜宮生、活気あふれる桜宮高校の姿は、これまでと変わっておりません。

また、本校では国際理解教育の一環として、平成一九年からオーストラリアのメルボルン市にあるキャンブラリア・カレッジを姉妹校とし、隔年での相互訪問による交流を行ってきました。しかし感染症の影響により一時中断を余儀なくされましたが、令和六年度の本校からの六年ぶりの訪問団派遣により交流

が、令和六年度の本校からの六年ぶりの訪問団派遣により交流

が、令和六年度の本校からの六年ぶりの訪問団派遣により交流

が、令和六年度の本校からの六年ぶりの訪問団派遣により交流

令和8年度 一葉会 総会

■一葉会総会は毎年6月第3日曜日で、(会則で決められています) あなたの年間ご予約にお繰り入れください。

と き 令和8年6月21日(日) 午前11時～
ところ リストランテ・クロノス

会 費 7,000円(新卒から4年間3,000円) 当日、受付にて徴収させていただきます。
議 事 会務報告および議事

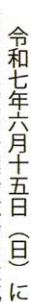
- 一葉会総会にご出席の方は同封のハガキにてご通知下さい。お手数ですが、返信は6月10日までにお願いします。
- 住所変更の手続きは同封の返信ハガキ又はホームページにてお知らせ下さい。
- 一葉会はクールビズを推奨しております。お気軽にご参加下さい。
- 蔓延防止対策などの規制が発生した場合は中止と致します。予めご了承下さい。



■OsakaMetro西梅田駅南改札より徒歩3分 ■JR北新地駅西改札口より徒歩3分
■JR大阪駅梅田駅より徒歩10分 ■京阪中之島線渡辺橋駅7番出口より徒歩5分
■ドーム地下センターC-83出口より徒歩30秒



令和7年度一葉会総会報告於大成閣



始めました。続いて教中校長先生からご挨拶を頂戴しました。今年度より着任された教頭先生や事務長の紹介をしていただきました。公立高校の志願者数が増えている現状があり、大阪府下の高校全体で39クラス減という結果で、本校もその内の1校で昨年まで普通科4クラス、人間スポーツ科学科3クラス、人間スポーツ科学科3クラスの合計7クラスでしたが、本年度の新入生より1クラス減の普通科3クラス、人間スポーツ科学科3クラスの合計6クラスという状況を教えていただきました。大阪府立高校の約4分の1が1クラス減となっているそうです。

続いて、会計監査の廣畑会員
(昭和56年卒)のご紹介、特別
会員(現・旧職員) 藪中校長先

第2部も高橋幹事の司会進行で、山下副会長（昭和53年卒）によるご挨拶、森口前校長先生の乾杯のご発声より第2部が始まりました。寺村会員（昭和36年卒）が在学中一度も休まず登校された証の皆勤賞賞状を持参されていて、数中学校長先生の申し出もあり、皆の前で2度目の皆勤賞賞状の授与がなされました。歓談中のスクリーンを使い一葉会のホームページの紹介をして、各年度の会報誌や総会のアルバム等も閲覧でき、住所変更や総会の出席連絡なども可能なことを紹介しました。天満教頭先生から桜宮高校の近況報告をしていたきました。スクリーンに動画が流された桜宮高校の雰囲気等が伝わってきた気がしました。今年度から着任された天満教頭先生は、部活動の盛

変うれしく思ったことを話されました。7月には遠泳をする水泳実習がひかえています。ホームルーム合宿と水泳実習は教頭先生が同行することになっていいので、水泳実習もしっかりとみてきたいと思います。と教えてくてくださいました。その後歓談中にお聞きしたことですが、中野会員（昭和36年卒）が読売新聞の川柳に投稿されて、100回入選を目標にされて令和7年に読売新聞の川柳に1000選目が掲載されたそうです。恒例となりつつありますが、三苫先生（旧職員）は、「さらば涙と言おう」森田健作の歌を熱唱されました。8月17日に大阪万博会場で軽音楽部が披露するとの事で学校紹介も兼ねて撮影に來て桜宮の生徒が映ったそうです。

又、こちらも恒例となってきました各テーブル訪問で、矢野前事務長、中野会長（昭和36年卒）、中村先生（現職員）、濱田会員（昭和46年卒）にお話ししていただきました。令和7年卒のメンバーはステージに全員出てきてもらって一人ずつマイクを向けました。城会員、安達会員、宿南会員、渡邊会員、山田会員、大谷会員、小寺会員、大塚会員、砂田会員、西尾会員、近石会員、米田会員、山下会員、溝端会員と今年は数多くの新卒者が参加してくれました。やはり若い方が話し出すと個々に話しているメンバーも自然とステージに注目し、耳を傾けるようになっていました。

マイクを機部副会長（昭和50年卒）へ引き継ぎ、今年は応援歌も復活させてみんなで歌い続いて恒例の校歌も元気に歌いました。閉会の挨拶を細野副会長（昭和50年卒）にしていただき、最後にも恒例になりつつある大阪締めを井出会員（昭和56年卒）の音頭で締めくくりました。

¥3,000(送料込み)

創立 100 周年を記念して製作されました記念誌を販売いたします。我が校の歴史や写真、100 年の歩みなどなど、盛り沢山の内容となっております。ご希望の方は同封の振込用紙にてお申し込み下さい。ご入金確認後、発送させていただきます。

※数に限りがありますのでお早めにお問い合わせいたします。

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
費 用	金 額	費 用	金 額
前年度より繰越金	4,056,117	総 会 費	432,000
入会金(264 名)	1,319,395	会 報 発 行 費	1,978,676
総 会 会 費	372,000	ホームページ運営費	200,000
同窓会会費・協力金	1,171,769	学校活動補助金	100,000
100 周年記念誌	12,000	卒業生記念品費	238,500
広 告 費 _(6 件)	105,000	インターハイ出場クラブ等謝金	
預 金 利 子	429	雑 費	35,929
総会当日の年会費	32,000	会 議 費	59,020
		100 周年記念発送料	23,130
		次年度繰越金	4,001,455
合 計	7,068,710	合 計	7,068,710

※令和7年度総会にて承認されました。

一葉会役員案

會計

" "

"

名誉会員

顧
門

"

佐竹道靖

田刀

貝朱実

同窓会 だより

一葉会では、皆様からの色々な情報をお待ちしています。

令和7年卒 生徒会長挨拶

この度、令和7年度卒業生代表としてご挨拶をさせていただきます。私は、1年次の生徒会選挙にて会計として当選し、2年次には生徒会長に就任し、この3年間、桜宮高校の発展と成長に日々尽力してきました。さて、会報に關しまして、ここでは学校の代表として努めた生活を振り返りたいと思います。

令和5年度、「桜」を冠する学校名に呼応するように、桃色の花が咲き誇る季節に、私は桜宮高校に入学しました。当時より、運動に力を入れて活動も活発で、大きな成果を上げていくものも数多くあります。そのぶん、週3日ある体育の授業は生半可なものではなく、つい最近まで中学生だった学生たちにとってはかなりハードなものだったでしょう。しかし、私はその授業で、集団で行動することの難しさや、うまく動けた時の心地良さ、規律を守らんとする心など、学校生活では欠かさない大切な姿勢を学べました。他に印象的だったのは、やはり2年次の生徒会選挙、桜宮祭です。選挙では、全校生徒の前に登壇し演説をするのですが、それはもう緊張の限りでした。前述したように本校



令和7年 乾 亜楽斗 生徒会長

の生徒は活発そのもの、元氣いっぱい、学生が多く、私がそんな同世代の先頭に立つて導いていけるのか、という不安もありました。ただ一度立つてしまえば事前に考えていたことも意外にもすらすらと話せてしまつて、自分に自信を持つことができました。そこからあれよあれよと時は進み、自らが運営側のトップに回る桜宮祭がやってきました。桜宮祭は、桜宮高校の年間行事のなかでも、特に力を注ぐ一大イベントと言えます。その準備のため、毎日が多忙を極めており、当日には生徒会みなへトヘトだったと思います。しかし、私たちが作ってきたものを楽しみにしてくれている人がいる、ということに改めて受け止め、最後までやり切ろうと引き締め取り組みました。さらに、本校で今までのない試みとして、「スマートフォンを用いた写真・動画撮影、及びそれらの拡散」を実施することに成功しました。力及ばず、当初想定していたように上手くはできなかったのですが、無事形にできたこと、なにより皆さんに喜んでいただけたことが心に残る、忘れられない思い出となりました。また、3年間を通して、授業は勿論のこと、生徒一人一人に寄り添い、感謝してもらった先生方には、感謝してもきれいありません。あつという間に3年間は過ぎ去ってしまいましたが、これらのことは深く心に残っています。桜宮高校の更なるご発展をお祈りしています。

元後援会長ご挨拶

一葉会の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私は平成25年度・平成29年度にPTA会長を務めさせていただき、その間には桜宮高校創立一〇〇周年という大きな節目にも立ち会うことができました。多くの皆さまに支えていただき、今も感謝の思いでいっぱいです。

これまで互礼会などを通じて一葉会の皆さまと交流を重ねてまいりましたが、コロナ禍の影響に加え、大阪市から大阪府への移行もあり、後援会としての活動は事実上停止した状態となりました。後援会の先輩方と相談を重ね、学校とも協議した結果、後援会は継続しないという結論に至りました。

忘れてはならない事案の際、世間が偏った見方をする中であつても、生徒一人ひとりの心に寄り添い励ましてくださった一葉会の皆様の姿勢は、保護者にとつても大きな支えでした。その思いを胸に、年度内に総会を開き、後援会は解散の方向性で考えております。また、これまでの後援会費については、生徒たちのために必要な品を贈呈する形で検討しております。今後は、私達後援会メンバーも大好きな桜宮高校の応援団の一員として一葉会の諸先輩方と共に活動出来れば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

元後援会長 中 明香

令和7年度生徒会長乾くん、新生活の忙しい中投稿頂き有難うございました。乾くんはじめ卒業生方々のご多幸を願っております。

元後援会会長中さん、有難うございました。後援会の皆様には桜宮高校発展に寄与頂き過去には春の甲子園出場の際大変高額の寄付金を寄与頂いたと聞いております。歴代の後援会の方々にはこの場を借りて感謝申し上げます。

一葉会 会長 泉 浩平

還暦 同窓会

昭和59年卒 還暦同窓会



後はベンチ裏のサロンで宴会。高校時代の同級生は数十年前ぶりに会う者同士でも一瞬にして高校の頃に帰るいい仲間といふことを再確認しました。担任していただいた西村先生も「ワシの還暦祝いをしてくれたアンタらの還暦祝いにワシが来んぞどうすんねん」と参加していただきました。もう1人の担任の河野先生はご病気の為御参加いただけず、三月十八日長い闘病生活の末にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



写真右 榮永順子前PTA会長
写真左 榮永優樹卒業生

追記 卒業証書ファイルとコサージュは一葉会から寄贈させて頂きました。

塚田智恵

令和7年度卒業式

令和7年度第78回卒業証書授与式に参列させていただきました。入場して来る258名の卒業生は皆しつかり前を向き、自信に満ち溢れていました。式次第に沿って進んでいき、最後の校歌斉唱では卒業して何十年たつても覚えていて、一緒に歌うことができました。

卒業式後、保護者を代表してPTA会長より先生方にお礼の言葉を述べられました。感極まり涙声になる様子に、自分や子供の卒業式を思い出し、思わずもらい泣きをしてしまいました。生徒たちは教室に入り、最後のホームルーム後、担任の先生を先頭に花道にむき降りてくる様子は誰もが笑顔で、涙はありませんでした。その列は河川敷へと向かい、友達や先生方、後輩たちと記念写真を撮っていました。高校3年間の思い出を胸に巣立つていく姿に、心よりエールを贈ります。

ひろば



一昨年の返信はがきで寄せられた メッセージの一部を掲載いたしました。

■現在、大阪府立千里青雲高等学校へ暫定再任校長です。一葉会のみなさまにお会いできることを楽しみにしております。当日はよろしく願っています。元気にしています。

旧職員 森口愛太郎

■会長様、役員の皆様、ご苦勞様です。ご盛会をお祈り申し上げます。

旧職員 八木 経夫

■アメリカの診の研究に動んでいます。

旧職員 三苫 直光

■たいへん懐かしく拝見させていただきました。これからも元気で頑張って日々を送りたいと思います。

昭二八年卒 稲瀬美江子(岸本)

■今年三月九日たまたま日曜日と重なり米寿のお祝いをひ孫と共に祝ってもらいました。もう



少しお米を食べ「卒寿を迎えた」思っています。

昭三一年卒 野崎 雅子(国富)

■いつもお世話様です。私532年度卒業の八六歳ですが、病気の事が無く虫歯もありません。親に感謝しています。仕事も七十六歳までしてました。少し耳が遠くなり、娘に叱られている毎日です。ボランティア活動で月一回十六年間続けています(自治会で食事手作り月二回の内一回です)

昭三二年卒 相川 典子(田畑)

■役員の皆様、いつもお世話になっております。体調悪く、入退院の繰り返し、娘の世話になっております。

昭三二年卒 中村 本子(山中)

■卒業して七〇年近くなりました。在学中に今の校歌が作られた現在に至っています。私の入学時には、まだ校歌もなく生徒会の歌を「生駒の山は黎明の」と校歌代りに歌っていたましたね。今の後輩たちはこの歌を知っているのでしょうか？懐しく思い出されます。

昭三三年卒 高橋 彰

■同年卒の高橋さんのお便り、いつも楽しみにしております。なんとか元気に毎日スポーツクラブに行きヨガ、プールなど少しの運動とお風呂に入り帰ります。

昭三三年卒 中川 恵子



■一葉会のお知らせを、有難うございます。毎朝、明石大橋のそばの公園で、ラジオ体操に通っています。主人も今年九〇才を迎えます。穏かな日常が続けられる様に願っています。

昭三四年卒 坂口 昭子(今川)

■お便りします！我が母校を誇りに思える「会報誌」を、あとどれぐらい読むことができるのだらうか、と独りつぶやく。恒例の「一葉会総会」の季節になると、胸が疼く。これも人生ですね。一葉会役員の皆さま、ご苦勞をおかけしますが、どうぞ紙面溢れるほどの便りを待っています。ありがとうございます！

昭三四年卒 前田正子(矢田部)

■会報ご送付、感謝しております。今年橋寿を迎える事になります。これからも家族との共生を大切に過ごして行くつもりです。一葉会発展を祈念します。

昭三五年卒 中井 澄

■ここ数年、坂道をこるげ様の病との戦いが続いております。少しずつ回復しておりますが、なかなかです。皆様によりよくお伝え下さい。

昭三六年卒 児玉美弥子(山亀)

■会報いつも有難うございます。私は川柳道に励んでいます。読売新聞朝刊に掲載今現在百十回クリアです。

百九 米中露波風立ててどこへ行く

一一〇 天国と地獄見ている石破さん

大阪川柳作家名鑑に、私の川柳も三十年間、新葉館川柳誌専門誌に掲載されました。ポケ防止に川柳を楽しんでいます。

昭三六年卒 中野 稔

■卒業式で三年皆勤賞を私を含め十一名が頂きました。他の十名は、どうしていただろうか？私は出来る限り行きます。

昭三六年卒 寺村 昭子

■昨年、右肘骨折で三週間ギブスの生活をしました。人生(八一歳)で初めての骨折を経験しました。会報ありがとうございます。

昭三七年卒 楠本英子

■八十歳になり先行き不安な事が多くなりましたが、四十年間健康維持のために週4回はプールで1500m前後泳いでいます。「継続は力なり」です。死を迎える迄、泳ぐ事ができればと。

昭三八年卒 赤松美千子(栄山)

■まだ元気しております。6月に決まりましたら、来年生きておりましたら必ず、参加させて頂きます。

昭三八年卒 高橋 尚子(寺田)

■毎年会報を楽しく拝読し関係者のご努力に感謝しております。少子化、私学無償化等、諸々の要因で校高の志願者減少は残念です。一葉会総会報告、同窓会だより、サクラフェスティバル、部活動成績等、楽しく読ませていただきました。

昭三八年卒 木村 勉三

■いつもお世話して下さい、有難うございます。皆さんのおかげで会報を読ませていただいています。今後共よろしく願っています。

昭三九年卒 川路 俊恵(中越)

■元気に暮らしております。来年八十歳になりますので最後の七十年代を皆様に応援してもらっています。

昭三九年卒 永井 仁三

■今年八十歳現役で仕事をしていますが、定年退職がないのでいつ引退するか決断するのが難しいです。日曜日は自宅で休養します。

昭三九年卒 小山 章松

■体育、文化施設をユーチューブで拝見して、そのすばらしさに目からうろこ、伝統ある公立



小山章松法律事務所

民事・会社(商事)・破産・家事・相続・離婚・刑事・少年・法律相談・知的所有権

弁護士 小山 章松 (昭和39年卒)

地下鉄南森町駅徒歩5分・北浜駅徒歩3分
大阪市北区西天満3丁目1番6号 辰野西天満ビル6F
TEL.06-6367-1615 FAX.06-6366-5380

の「雄」としてさらなる発展を祈念しています。

昭四十年卒 後藤 眞一

■お世話になり有難うございます。毎年送られてくる一葉会報を楽しみにしております。

昭四一年卒 高橋 良子(中島)





■役員の皆様、お世話様です。ありがとうございます。関東にお住まいの方々と時々、三三同窓会を開催しています。

昭四二年卒 寺崎 新子田村

■健康の為、まだ私学の設備の仕事をしていました。

昭四三年卒 金村佐千子(山本)

■R7年2月に左手の手術をして4月から右手指の治療を行いながら十一月に予定しているギターコンサートに向け、練習に励む毎日です。

昭四六年卒 青木 敏明

■会報楽しみにしております。コロナからもやっと解放され、体調も少しずつよくなっています。総会に参加できるようながんばります。ありがとうございます。

昭四六年卒 岡本真千子(松浦)

■今年3月、担任だった松尾先生がお亡くなりになり、寂しい限りです。

昭四六年卒 柏原 弥生(湯上)

■お世話になります。元気でござる事に日々感謝しながら頑張っています。『桜高時代』、楽しい思い出です。

昭四六年卒 森 孝子(和田)



■毎年会報ありがとうございます。楽しく読んでおります。令和に入ってから、クモ膜下出血を発症し、九死に一生を恵まれましたが、左側に半身麻痺が残りにハビリ頑張っています。(歩けるようにとエ足手まといにならないか? チーム2Gに入部できますか? 皆様も体を大切にしてください。)

昭四七年卒 吉村恵美子(木村)

■毎年の会報ありがとうございます。先生方の元気な様子を見せて頂いて感謝です。私も今年は桜高魂・バレー部根性で大阪関西万博のボランティア活動に参加しています。七十歳以上でもガンバります。さあ来年は何しようかなあ。

昭四七年卒 戸田あけみ(塩山)

■会報誌、懐かしく読ませて頂いて居ります。お世話に感謝、いつもありがとうございます。

昭四七年卒 中村 純子

■お世話になっております。元気で田舎暮らし二十年楽しんでます。メタセコイヤ並木が有名になり、観光地になってしまいました。

昭四七年卒 河本 雅彦

■ずっと書家として、指導活動しております。この日は書道関係の総会祝賀会があり、欠席いたします。

昭四八年卒 盛岡安紀子(山口)

■役員各位、誠に有難うございます。深く感謝申し上げます。本年は、いよいよ古希を向える年齢となりました。同級生の皆様お元気でしょうか。皆様の益々のご健康、お祈り致しております。

昭四九年卒 堀之内孝一

■総会に出るようになって3年目です。毎年楽しみにしております。お世話になります。どうぞよろしく。

昭四九年卒 西野 博子(津田)

■いつも有難うございます。同窓会でも皆様に会える様、体調管理して頑張ります。よう！

昭五十年卒 熊澤 夕貴子

■会長職で苦勞様です。遠方につき調整できず申し訳ありません。七十歳の学年同窓会には出席したいと思っております。

昭五三年卒 和田由美子(猿渡)

■泉君会長職御苦勞様です。早いもので、六五才も過ぎ様としてますが、ガンパンで仕事続いております。お互い体に気をつけてガンバリましょう。辻先生お元気ですか

昭五三年卒 土田 エリ子

■今年3月をもって完全定年退職となりました。しばらくは年金生活になります。一葉会の参加については毎年、楽しみにしています。

昭五三年卒 田中 宏

■今年は参加したいと思っていたのですが、都合で行けません。会長の奮闘ぶりを見たかったの

ですが残念です、すみません。

昭五三年卒 後藤 淑子(北野)

■当日は国外におり、申し訳ないです。六十歳で、小さく起業したビジネスも6年目、今年法人化することになりました。オウンビジネスの楽しさを知り、元気に暮らしております。泉君も頑張ってください！

昭五四年卒 河原 さとみ

■昨年の総会のご報告の中に、高2、高3の担任の谷口先生のお話懐かしく拝読。大阪市の中学校教師として昨年度「戦争と平和」とのタイトルの創作の一人芝居の中で自らの被爆者としての体験からノーモア・ヒロシマ、ノーモア、ナガサキを未来を担う中学生に強く訴えかけました。

昭五五年卒 山 正一郎

■R六年十月に担任の大木先生の喜寿のお祝いを十組同窓会として開催、奥様(向井先生)と一緒に参加下さり、遠い所では沖繩からも参加、二三名にぎやかに楽しい時間でした。

昭五六年卒 中野 弘美(一尾)

■昨年、初めて総会に参加させていただきました。今年は都合が悪くて参加できませんが、来年からは、また参加できるように、6月の第3日曜日は空けておこうと思います。

昭六三年卒 林 さとみ(竹本)

■いつも会のご活動がありありがとうございます。桜高の同期の娘さんが今年4月に入学されたようで、入学式の写真を頂きました。制服が変わっていました。校舎や雰囲気は昔のままでした。懐かし、そして今の子供達に良い高校生活を送って欲しいと思います。年をとった自分がいいる事を再認識しました。

平十七年卒 橋本 理絵(友利)

第7回一葉会 ゴルフコンペのお知らせ

「第7回一葉会ゴルフコンペ」は二〇二六年九月二十七日(日)「青野運動公園アオノゴルフコース」にて開催致します。

アウト・イン(8時50分集合)

9:30同時スタート

コース状況が良好であれば、

コース内にカート乗り入れ可能です。

プレー費 11020円

会費 3000円

参加ご希望の方は同封ハガキにご記入頂くか左記QRコードからご連絡頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

事務局からの連絡はメールになります。

info@ichiyokai.net

(携帯電話等のアドレスで登録された場合は、必ず受信設定をお願いします。)

住所・氏名・生年月日・携帯電話・メールアドレス・所属クラブ名をご記入下さい。

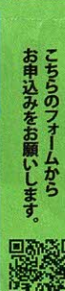
お問い合わせの対応は、留守番電話もしくはFAXでの対応となります。

ご了承下さい。

一葉会ゴルフコンペ事務局

こちらのフォームから

お申込みをお願いします。



中古車販売／車検・整備・修理
近畿運輸局認証整備工場／自動車保険取扱

Collection Cars
www.collectioncars.jp

有限会社コレクションカーズ
〒535-0031 大阪市旭区高殿7-5-2 TEL 06-6958-3355
代表 新井 忠志 (昭59年卒)

幸福測量登記事務所

土地家屋調査士 尾崎 峻
行政書士

昭和41年卒

〒630-8303 奈良市南紀寺町三丁目62番地14
Tel:0742-22-5446 Fax:0742-93-3462
E-mail:weiweiqi@kje.biglobe.ne.jp

クラブ 座談会 水泳部



二〇二六年一月五日(水)に水泳部座談会を実施いたしました。桜宮高校水泳部は、昭和三十一年の東京オリンピックに向けて強化指定校として全中の上位入賞選手が集まり発足しました。中には東京オリンピックに出場された中野選手や辻先生もおられました。トタンで覆った室内プールも作られ練習環境が整備されました。体育科設立時に現在のプールへ練習は早稲田大学からの協力もあり、一年の内三分の一は

合宿生活で、夏休み初日に布団とお米を持って集合、夏休みの期間中四十日間、寝食を共にし、朝から晩まで練習をされたそうです。余談ですが、今ではエンジ色は桜高のスクールカラーのようですが、本当はナス紺で、エンジ色は早稲田大学の影響で桜高のスポーツカラーとなったそうです。当時の戦績は、総合全国三位、国体の全種目の代表を桜高生で占める凄く高校でした。その後、辻先生が卒業され、学生時代はコーチとして、また教員になられてからは監督として母校に戻られて水泳部の発展に尽力されました。桜高は一日に2万m×3万m泳ぐ全国でもトップクラスの練習の厳しい強豪校に成長しました。おもしろい話ですが、創設当時を除くと、体育科が創設されることが決定し、新プール・体育館を作るために古いプールをつぶして、プールが無かったために近くの高校やスイミングを借りしながら厳しい練習をしていたのがインターハイチャンピオンを輩出するなど、一番強かったそうです。

体育科が創設された後もインターハイは毎年常連、市立大会では男女共に全種目優勝するなど輝かしい時代が続きました。その後、成績は下降気味でインターハイ連続出場が途切れ、卒業生としては寂しい時代がありました。最近では新しく大谷先生が顧問に就任され、少しずつ復活の兆しが見え始め、大阪の強化指定選手にも選ばれる生徒も出てきています。また、現役の選手たちにも負けじと卒業生も辻先生を中心に現在マスターズチームを作り、現役時代のピリピリした雰囲気ではなく、みんなで和気あいあいと笑いながら水泳を楽しんでいます。桜高水泳部出身の方は全国に多数おられ、どこに行っても「桜高水泳部出身」というだけで、色々な方からお声掛けいただき初対面でも以前からの知り合いの様に接していただいたり、水泳界では知らない人が居ないぐらいです。水泳協会の会合に行くと副会長をはじめ専務理事や高体連の委員長、小学校から大学、スイミングの関係者まで桜高出身者がいて、ちょっとしたOB会のような感じです。



水泳部の卒業生は、辻先生は勿論、年齢が離れていて現役時代は接点のなかった先輩方も、人生の岐路に立つような深刻な問題が起った時にも親身になって相談に乗っていただいたり、ある意味家族のような関係です。設立当時の家族より長い時間を共に過ごし、くるしい練習にも一緒に乗り越えた関係が伝統となり家族のような関係を作る基礎になっていたのかも知れません。(当時の同級生の方は今でも春・秋に集まれ親交を深められてるそうです。)

ですが、昨年末「少人数でもいいので集まって呑まか」と辻先生がおっしゃった所70名を超える卒業生が集まり、昔話に花が咲き、ベリーグッドな披露してくださる方もおられました。大変盛り上がった会になりました。幹事は当初予想に無かった人数が集まり場所の予約等かなり苦労した様です。再来年は水泳部創立65周年ということで水泳部卒業生の会「淀桜会(てんおうかい)」が開催される予定です。

座談会出席者

S40年卒 辻 義継
S49年卒 川口 治彦
S56年卒 塚田(福田) 智恵
S59年卒 永島(岩本) 貴子
平成元年卒 岩佐(湯谷) 夏江
S59年卒 箕浦 智 敬称略

令和7年度 SAKURAフェスティバル



令和七年十一月十五日に開催された「SAKURAフェス」に今年も参加させていただきました。去年の経験を活かし、春からPTAの方々と話しあう場を何度か設け、その中で感じたのは生徒さんへ負けないうの熱量で取り組んでいるPTAの方々です。この姿は生徒さん全員に活気を与えているに違いないでしょう。礼儀正しさも部活の好成績も学校環境だけではなく、PTA活動も大きく影響しているのは間違いないでしょう。

追記 今回PTAの方で桜高オリジナルグッズをデザインから手がけたオル・トートバック・クリアファイル等を販売されました。オリジナルグッズは365日ネットで購入できます。1つ購入することで少額ですがありますが、寄付につながるようです。是非、一度ご覧になってください。『SUNDER』Hdから sakuramiya-high-school で検索して下さい。

村井景子

応援歌復活第2弾!!

赤い夕陽が沈むまで
練った力だするどい技だ
白いラインのグラウンドに
校旗はためき
いざいざ競わん
勝利のゴールは
目の前だ

前回会報でご案内しましたが桜宮高校ホームページに無事音源を載せる事ができました。手順(桜宮高校HP学校案内クリック、校歌、生徒会歌、応援歌クリック)是非お聞きください。前回もお伝えしてましたが昭和四十年代にはよく歌われていたが昭和五十年代には引き継がれていましてしたが当時平成元年(1989年卒)前後の学年バレー部女子が試合前に鼓舞する為に応援歌を歌ったそうです。他のクラブでは歌ってなく女子バレー部だけ改めて告知しますが、女子バレー部歴代OGの方々の謎を解明したくご協力をお願いいたします。またこれを機会に現役生徒にも復活頂けるよう桜宮OBの先生方にもお願いしております。





母校 部活動の主な成績(2025年度)



部活動名	大会名	結果
剣道	第80回大阪高等学校総合体育大会	第3位
	第72回大阪高等学校剣道新人大会	第3位
	第19回近畿高等学校選抜剣道大会	予選リーグ敗退
男子	令和7年度 近畿高等学校テニス大会 大阪府予選	ベスト16
テニス	第33回 近畿公立高等学校対抗テニス大会 大阪府予選	ベスト8
女子	第3回西日本公立高等学校テニス大会	ベスト8
テニス	令和7年度 第14回 近畿公立高等学校テニス大会	ベスト8
	令和5年度近畿公立高等学校テニス大会団体戦	準優勝
	令和7年度大阪高等学校秋季テニス大会	ベスト16
硬式野球	第107回全国高等学校野球選手権 大阪大会	3回戦進出
男子	第3回公立高校大会	第3位
サッカー	R7年度全国選手権大阪予選	ベスト32
女子	令和7年度大阪高校春季サッカー大会（女子の部）	ベスト8
サッカー	令和7年度大阪高校総合体育大会サッカーの部（女子の部）	ベスト8
	令和7年度大阪高校新人サッカー大会（女子の部）	ベスト8
	U-18女子サッカーリーグ2025関西	3部出場
柔道	第80回大阪高等学校総合体育大会柔道の部 男子団体戦 II部	第3位
	令和7年度公立高校柔道大会 団体戦	第3位
	令和7年度公立高校柔道大会 女子個人戦	第2位
水泳	第80回大阪高等学校総合体育大会水泳競技大会	総合第8位
	第79回近畿高等学校水泳競技大会兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会近畿ブロック 男子4×100mメドレーリレー	12位
	第79回近畿高等学校水泳競技大会兼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会近畿ブロック 女子4×200mリレー	出場
	第80回大阪高等学校総合体育大会水泳競技大会 男子4×100mメドレーリレー	第6位
	第80回大阪高等学校総合体育大会水泳競技大会 女子4×200mリレー	第7位
ソフトボール	第23回大阪高校ソフトボール春季大会	ベスト8
	全国高校総合体育大会大阪大会	ベスト8
	第33回大阪公立高校女子ソフトボール選手権大会	ベスト8
	第30回近畿公立高等学校女子ソフトボール大会	ベスト4
	第79回大阪高校総合体育大会	
男子	第23回大阪高校ソフトボール秋季大会	ベスト16
バスケットボール	第80回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会	ベスト16
	第73回大阪高等学校バスケットボール新人大会	ベスト16
女子	第80回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会 一次予選Kブロック	準優勝
バスケットボール	第73回大阪高等学校バスケットボール新人大会	ベスト16
男子	令和7年度 大阪高校選手権大会	ベスト32
バレーボール		
女子	令和7年度 大阪新人大会1次予選	Jゾーン1部1位
バレーボール	令和7年度 大阪府公立高等学校バレーボール大会	3位
ボート	令和8年度 第37回全国高等学校選抜ローイング大会 女子ダブルスカル	優勝（★全国優勝）
	令和8年度 第37回全国高等学校選抜ローイング大会 男子ダブルスカル	8位入賞
	令和7年度 全国高等学校総合体育大会ローイング競技 女子シングルスカル	7位
陸上競技	U20日本陸上競技選手権大会 男子3000mSC出場	
	U18陸上競技大会 男子3000mH出場	
	近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 女子4×100m・走幅跳出場	
	大阪高等学校総合体育大会 男子800m5位・三段跳7位	
	大阪高等学校総合体育大会 女子100m7位・走幅跳2位・砲丸投5位8位・ハンマー投6位・4×100m3位・4×400m8位	
	大阪高等学校陸上競技対校選手権大会 男子やり投8位	
英語	なし	
音楽	J-COM Presents高校軽音フェスティバル2025	出場
茶華道	月に数回、自宅茶道教室にて裏千家の茶道点前の指導を受け、茶道の歴史や茶道具、季節の行事など、日本の伝統文化について深く学ぶことができた。	
書道	なし	
吹奏楽	なし	
生物・化学	なし	
美術	第76回大阪府高等学校美術・工芸展 絵画部門	優秀賞 3名
	第76回大阪府高等学校美術・工芸展 絵画部門	奨励賞 4名
	令和7年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール	特選(大阪市) 1名
漫画研究	なし	
ダンス	第18回ダンススタジオ夏出場	
	都島区ストリートダンスコンテスト出場	
	第17回大阪府高等学校芸術文化祭ダンス部門コンテスト出場	
	Dance Drill Spring Festival 出場	
	第15回ダンス・ガラ出場	

※頼もしい後輩たちの活躍です。文字のサイズが小さく見えにくいとは存じますが、ご了承ください。

一葉会ホームページができました!

<http://www.ichiyoukai.net>

学校の動向や、各クラブの試合日程、結果などを掲載し、
会員の皆様との相互通信の場として運営します。

紙面充実のため広告掲載にご協力を!!

Facebook・LINEも開設しております。QRコードをご利用下さい。



パッケージデザイン・プランニング



**OKANO
DIRECTION**

52-7 DAINICHI-CHO4 MORIGUCHI
OSAKA 570-0003 JAPAN

有限会社 おかのでれくしょん

〒570-0003 守口市大日町4-52-7 Tel.06-4252-6655

磯部 朝幸(昭50年卒)

会費・協力金ありがとうございました

相澤 佑典	大西 雅子	義間 達男	高山 知浩	馬場 和枝	村井 忠司
青木 三保子	大橋 孝三	木村 守	山口 優	濱田 生枝	村尾 鳳海
赤松 美千子	大橋 美智子	清久 茂美	武田 清美	濱本 美佐栄	村上 正也
秋山 安彦	大林 眞子	草野 秀昭	田中 紀代子	林 春彦	村田 修
朝倉 正三	岡浩	楠本 英子	田中 宏	原田 浩平	森 淳人
浅村 信義	岡崎 かおり	久野 祐滋	谷口 喜志子	日色 育子	森 孝子
足立 勤	小笠原 猛夫	熊澤 夕貴子	谷口 賢次	廣戸 史明	森川 治之
新 けいこ	岡田 敏明	雲北 芳広	谷口 文恵	福田 雅夫	森田 郁子
荒木 達雄	岡田 俊男	栗山 義男	玉里 弘子	藤井 綾子	森田 博子
粟田 歌美	岡田 眞理子	小坂 登	樽野 和恵	藤田 寛	八木 清
粟野 彰夫	岡田 康恵	小寺 雅子	鎮西 絹子	藤田 絹子	八木 謙一
家崎 考治	岡留 和孝	後藤 眞一	塚田 智恵	藤原 和也	八木 経夫
井口 壽恵子	岡野 奈美	小山 章松	辻 義継	古田 一子	安村 恵子
池田 登美子	岡本 朱里	小山 保子	寺尾 恵子	星野 良輔	安村 哲夫
石田 実千代	岡本 雅俊	小山 章松	寺村 昭子	細野 隆一	藪内 博明
石村 香代子	小川 友子	坂井 文子	天元 忠一	堀之内 考一	山口 俊雄
泉 浩平	尾崎 美和子	坂下 明久	堂上 宣子	前田 啓子	山下 一郎
磯部 朝幸	小澤 和子	酒巻 八重子	徳永 博子	前田 啓子	山田 恵美子
伊谷 和之	越智 慶三	崎村 政幸	富永 克己	前田 静子	山中 久美子
伊谷 祐	小畑 和人	崎山 裕行	豊川 圭子	前田 正子	山中 隆史
井出 勝也	梯 信勝	佐々木 敏文	鳥井 利隆	牧 義幸	山野 つやみ
伊藤 仁広	影山 幸子	佐敷 俊次	泥谷 朋子	増田 美智子	山本 静子
伊藤 元文	柏原 弥生	佐藤 幹雄	永井 仁三	松井 啓子	山本 修也
伊藤 裕規	上村 学	佐藤 五月	長小田 敬太	松尾 利晴	山本 達哉
稲荷 和子	亀田 早苗	佐藤 貴洋	中川 恵子	松岡 正幸	山本 史子
井上 千万子	川北 賢治	上甲 智子	中野 弘美	松田 恵美	行森 和子
今田 悦子	川島 康弘	城間 桂子	中野 稔一	松本 貴子	横田 博志
今西 美咲	河本 雅彦	新家 弘子	西岡 勝利	松本 昌彦	横田 容子
上田 規みこ	神田 久子	新村 房子	西川 眞理子	松本 登代子	吉井 健雄
内田 裕祐	木内 一雄	鈴木 洋子	西野 節子	丸澤 尚代	吉岡 央子
浦上 昭	岸 美津子	相馬 那子	西野 博子	丸太 弘美	吉田 智保子
浦西 真由子	岸 成美	高月 千代子	西野 朱美	三苫 直光	吉田 清和
江藤 利恵	岸 浩光	高橋 彰	西野 宏正	宮崎 浩治	和田 光男
大石 由美子	岸 庄一郎	高橋 一	萩田 義弘	宮本 雅彦	渡部 智津代
大島 洋子	北田 隆次	高橋 とき子	橋口 輝雄	宮本 綱枝	高島 照子
大島 守弘	北野 幾子	高橋 尚子	橋本 理絵	宮本 由起子	盛田 安紀子
太田 尚江	北村 健一	高橋 良子	花戸 加代子	村井 景子	松南 ヒロシ
大西 英夫					

計233名(祝称略)

一葉会会報は、皆様の暖かい協力金から限られた経費の中、会報委員協力の元、製作しております。万全を期してはおりますが、万一誤字脱字、間違いなどがございましたら、誠に申し訳ございません。お詫言わせていただきたく、ご指摘をお願いいたします。

快挙！桜宮高校ボート部
女子ダブルスカル全国大会優勝

二〇二六年三月二十日(土)〜二十一日(日)の期間に天竜ボートコース(静岡県浜松市天竜区)で開催されました。

《第37回全国高等学校選抜ローイング大会》

男子ダブルスカル

(当時2年山口智悠・吉沢颯汰)

女子ダブルスカル

(当時1年渡邊伶香・合田芽生)

結果は、女子ダブルスカルが2着と4秒もの大差をつけ、見事に優勝を果たし、日本一の栄冠を手に入れました！

1年生ペアでの女子ダブルスカル優勝は大会史上初の快挙です。

また、大阪府内の高校では全種目を通して全国高等学校選抜ローイング大会初優勝となります。

男子ダブルスカルでは順位決定戦において0・6秒差の大接戦を制し、2年連続8位入賞を果



《マメ知識》全国大会は今年大会と国民スポーツ大会とインターハイの3大会種目1人乗り、2人乗り、舵手付き漕手4人コックス1人、男女とも部員男子新3年生4人、新2年生4人、女子新2年生3人、計11名(2026年3月末時点)



たしました。桜宮ボート部は部員全員が高校から初めてボートに乗りますが、ジュニアから経験のある漕手のいる全国の強豪校と競い日本一になりました。創部43年と他のクラブから見るとまだまだ若いクラブですが、先生やコーチ、それから国体では選抜チームとして清風高校・高石高校と共に切磋琢磨しながら更なる日本一を目指し大川や浜寺で日々練習に励んでいます。これからも応援よろしくお願い致します。

一葉会会報広告掲載と協力金のお願い

来年度発行致します一葉会会報は、紙面の一層の充実をはかります。その発行費用の援助に、只今広告予約受付中です。ぜひご協力をお願い致します。

■ 広告 1 段 [18×4.5cm] …30,000 円

■ 広告 1/2 段 [9×4.5cm] …15,000 円

☆変更はご通知ください。改姓、住所表示の変更、転居などの場合は、はがき等書面に母校一葉会宛お知らせください。

協力金 1口1,000円 何口でも結構です。同封の振込用紙をご利用ください。

一葉会会費納入のお願い

平素から一葉会協力金へのご協力誠に有難うございます。令和2年度の総会で年会費の納入案が議決されました事を受けて、引き続き実施させていただきます。同封の振込用紙に年会費(2,000円)と協力金(いただける場合)の金額(例: 協力金 1,000円 × 2口 = 2,000円)をご記入の上、お振込下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

振込先口座番号(振込用紙以外の場合)

ゆうちょ銀行から【記号】00930-1【番号】302395

他銀行から【店名】〇九九(ぜいこうけい)店【店番】099

【預金種目】2 当座預金【口座番号】0302395

(振込名欄の名前の前に会員番号をご入力下さい。)